

会 議 録

会議名		令和6年度 第6回横山地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)			
開催日時		令和7年3月17日 (月) 19時30分～20時50分			
開催場所		横山公民館 1階 大会議室			
出席者	委員	16人 (別紙のとおり)			
	その他	0人			
	事務局	3人 (中央6地区まちづくりセンター所長 ほか2人)			
公開の可否		■可 □不可 □一部不可	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由					
会議次第		1 開 会			
		2 議 題			
		(1) 地区まちづくりを考える懇談会について			
		(2) 令和6年度の振返りと令和7年度の取組 (案) について			
		(3) その他			
		令和7年度地域活性化事業交付金について			
		令和7年度のまちづくり会議開催日程 (案) について			
		令和7年度のまちづくり会議委員の推薦について			
		3 閉 会			
		 中央区誕生15周年記念 ロゴマーク  横山地区マスコットキャラクター よこぞうくん桜 Ver.			

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

吉田会長から開会

2 議 題

(1) 地区まちづくりを考える懇談会について

事務局から、懇談会当日の市の未回答事項の回答と主な懇談内容が報告された。

＜市の未回答事項要旨＞

質問 1 市が高齢者向けの自転車安全教室を開催することについて

回答 1 当日の副市長や局長からの回答に加えて、改めて市の事案担当課より、自転車安全教室は保育園や学校を中心に実施をしており、要望があれば、自治会やサロン等において開催も可能なため、開催希望の場合は、交通・地域安全課まで連絡いただきたい。また、中央区役所地域振興課からは「スケアード・ストレイト交通安全教室」を行っており、近隣の相模原高校で開催の際には、ご案内するので高齢者の方も含めご参加いただきたい。

質問 2 横断歩道を紅白に着色するような大胆な交通安全対策の要望について

回答 2 横断歩道の紅白化については、必要箇所に応じて検討することが必要なため、具体的な場所を個別に中央土木事務所へ相談いただきたい。

関連して高橋副会長より、宮崎県警察への聞取りと全国各地の横断歩道の着色状況の調査結果の情報提供があった。宮崎県では約 50 か所の横断歩道を紅白化に塗装した後の効果検証の期間に入っている。横断歩道の着色化は山口県や大阪府など全国に点在し、その色も紅白、緑白、青白と多様である。横山小学校周辺の横断歩道にもこうした措置をすることは得策と考えており、まちづくり会議委員にもこのような事例を承知しておいていただきたい。

質問 3 一般の方が知らないような自転車交通ルールについて

回答 3 交通・地域安全課より、自転車は、車道の左側通行が原則であるが自転車通行可の標識がある場合をはじめ、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者は歩道を通行することができる。ただし、その場合でも、歩行者が優先となるため、徐行や一時停止をするなどのルールがあり、それらのルールについて、自転車利用ハンドブックなどで周知をしていきたいと考えている。

質問 4 免許不所持の65歳以上に向けた自転車講習会について

回答 4 質問 1 と同じ回答。対象等に合わせた内容での教室の開催も可能なため、

開催希望の場合は、交通・地域安全課までご連絡いただきたい。中央区役所地域振興課からは、免許保有者ではあるものの、高齢者安全運転支援セミナーや運転認知機能検査体験会等、高齢者向け交通安全教室を行っている旨回答がされた。

また、石井副市長から当日、発言のあった民間事業者の連絡先については、推察されるものとして「トヨタドライビングスクール企業向け安全運転講習」がある旨事務局から情報提供された。

<懇談会当日の主な懇談内容>

- ・吉田会長より、交通安全教室など何があるのかなどを教えていただき、自分達自身も理解をして交通安全に関する自衛力を高めることを目的とし、地区として何ができるのかを判断していきたい。これからもサポートをお願いしたい。

- ・石井副市長より、当日いずれも交通安全は設備も大切だが意識づけ、マナーづくりが大切であり、地域の皆様との連携なくして進めていけない点をご了承いただきたい。

- ・杉田委員より、地域包括支援センター主催の高齢者向けの自転車教室を開催した結果として自転車シミュレーターの台数を増やす要望については当日、榎本市民局長より、市はシミュレーターを1台所持している現状と、今後もいくつも購入することは難しいが県や民間事業者から借用も可能なため大勢の参加が見込まれる場合、事前にお声掛けいただきたい旨回答があった。

- ・学校評議員会での意見として横山小学校は、3年生を対象に2学期末に自転車安全教室を実施しているが、新1年生を対象として開催時期を早めることの要望について榎本市民局長より、交通安全教室の開催時期については、毎年1月ごろに申し込みをいただいておりますが、夏休み前などにはできるように調整をするが、すべての学校を年度当初に行うことは難しい旨回答があった。

<主な意見・質疑>

○懇談会は、自転車の危険走行など自分達の感じた現状を市に言えたことがよかったと感じている。これまでの懇談会は地域が聞きっぱなし、市から回答されない印象だったが今回、地域の要望や報告について真摯に取り組んでいただき、応じますという回答があったことも良かったと感じている。

自動車は免許更新では受講義務があるが、自転車はそういった義務がないこともありルールブックだけではなく、実際に自らが学ぶことが大切ではないかと感じた。

個人的には狭隘で危険と感じる道路は、避けるようにしている。

○市は、自転車事故発生数県内上位3位から脱却できていない。2年続けて懇談会を実施したが、紳士的に行政に回答いただいたと感じている。今年度は下半期は懇談会の準備となったこと、交通安全に関する機運が盛り上がっているので来年度は、年齢層に応じた、自転車利用に関する研修や講義に関して取組みたい。

○神奈川県警に聞いたところ、県警本部が参加する自転車安全教室は夜間開催が難しいため、5、6月で日中の時間帯で考えようと思っている。まちづくり会議の時間帯で実施する場合は、相模原警察署と交通・地域安全課が対応すると聞いた。

→○来年度、具体的にどう進めるという所を検討いただきありがたい。

（２）令和6年度の振り返りと令和7年度取組（案）について

事務局から、今年度のまちづくり会議取組とこれからの取組に関するアンケートの結果が報告された。その後、吉田会長から、令和7年度取組（案）が提案された。主な内容は次のとおり。

＜報告要旨＞

- ・今年度は全6回の会議を開催、第4回までに意見調査やグループワークを実施し、主題を「交通安全」に、詳細なテーマを「自転車利用に関する講習や講義」とした。
- ・第1回では、自己紹介やまちづくり会議の概要の説明がされた。
- ・第2回では、改めてパワーポイントを使い昨年度の振り返りがされた。地区の課題に関する意見調査と、地域活性化事業交付金の前年度のまとめ誌が配布された。
- ・第3回では、前回の意見調査をもとに2回目の意見調査を行い、地区課題の主題を「交通安全」に決定した。
- ・第4回では、テーマ毎に分かれてグループワークを行い、地区課題の詳細なテーマを「自転車利用に関する講習や講義」に決定した。
- ・第5回では、地区まちづくりを考える懇談会に向けて、役員が作成した資料を基にリハーサルや当日の流れの確認をした。
- ・2月には、「横山地区内における交通安全」をテーマに地区まちづくりを考える懇談会を開催し、これからの取組についてアンケートを行った。
- ・今年度のまちづくり会議は、2回に渡り昨年度の振り返りを行い、4回目の会議までに意見調査やグループワークを複数回行い主題やテーマを決めたため、意見交換が多い1年だった。秋頃からはまちづくり懇談会の準備が主となった
- ・「交通安全」は身近であり、完結することがないため、横山地区まちづくり会議として、具体的な方向性を絞ることは難しい面もあったと思うが、委員の様々な意見により、活発な議論ができたのではと感じている。
- ・これからの取組に関するアンケート結果については、提出者13名中、最も多かった意見は「高齢者向けの自転車安全教室を開催する」、続いて「子ども向けの自転車安全教室を開催する」であった。

<主な意見・質疑>

○令和6年度の取組やアンケート結果を踏まえ先般の役員会にて検討した。1点目は「まちづくり会議での高齢者または小学生向け自転車講習会の実施」、2点目は「地区への自転車安全に関する啓発を行う」である。

まちづくり会議委員自身が「自転車利用の交通安全」に関して学ぶこと、まちづくり会議とまちづくりを考える懇談会を通して、いくつも提示された安全啓発の方法を実際に地区に向けて取組ことと整理した。あくまで、現年度委員の申送りであり、来年度委員が新しく考えることを妨げるものではない。

○3月12日に開催された横山地域包括支援センター主催の自転車安全教室（場所：下九沢児童館）に参加した。自転車シミュレーター体験も交通・地域安全課の講義内容も面白いと感じた。まちづくり会議自身が講習会の実施と参加をしていくのが良いと感じた。

○3月12日開催の自転車安全教室は下九沢地域で22名が参加。講義内容も上手であり「高齢者の方々へここまで生きてきたのだから交通事故なんかで死んじゃだめだよ。」というメッセージと共に、自転車シミュレーター体験ではどれだけ運転が難しいことを体感いただくことができた貴重な体験となった。

<結果>

自転車利用に関する講習や講義を地区課題として、委員自身の受講など実際の取組をすることを来年度に申し送ることとした。

（3）その他

- ・令和7年度地域活性化事業交付金の募集について事務局から説明がされた。

<主な意見・質疑>

特になし。

- ・令和7年度の開催日程について事務局から説明がなされた。

<主な意見・質疑>

特になし。

・地区まちづくりを考える懇談会の実施希望について、役員から令和7年度においては、実際に事業を行うことに注力したい旨提案があり、全会一致で横山地区は実施を希望しないこととされた。

- ・令和7年度の委員の推薦について事務局から説明がされ、推薦書を4月19日（土）

までに事務局または地区連事務局（横山公民館内）に提出いただくよう依頼された。

3 閉 会

末永副会長が閉会

以 上

令和6年度 第6回横山地区まちづくり会議 委員出欠席名簿

令和7年3月17日開催

	所 属 団 体 等		氏 名	備考	出欠席
1	横山地区自治会連合会／自主防災隊	会長／隊長	よしだ たかあき 吉田 貴亮	会長	○
2	横山地区自治会連合会	副会長	さかもと とし み 坂元 俊美		○
3	横山地区社会福祉協議会	会長	たかはし としひろ 高橋 年廣	副会長	○
4	横山地区社会福祉協議会	理事	の は ら たけし 野原 武		○
5	横山地区連合自主防災隊	防災専門員	よしむら きみかず 吉村 公一		○
6	横山地区民生委員児童委員協議会	会計	さとう あけみ 佐藤 あけみ		○
7	横山公民館	館長	すえなが あきこ 末永 暁子	副会長	○
8	相模原交通安全協会横山支部	支部長	かや ゆうじ 茅 祐司		○
9	横山小学校ＰＴＡ	副会長	おまた かずよ 小俣 和代		○
10	清新中学校ＰＴＡ	副会長	まえはら めぐみ 前原 恵美		欠席
11	横山地区青少年健全育成協議会	事務局長	きたがわ はる え 北川 春恵		○
12	青少年指導委員	—	いけだ なおひと 池田 直仁		○
13	スポーツ推進委員	—	くさか え み こ 日下 恵美子		○
14	防犯指導員	—	いなもと のりお 稲元 則夫		○
15	健康づくり普及員	理事	うちだ まさこ 内田 雅子		○
16	保護司	—	やまいし みつお 山石 三男		欠席
17	横山こどもセンター	館長	いちのせ じゅん 一瀬 純		○
18	横山地域包括支援センター	センター長	すぎた く み こ 杉田 久美子		○



第6回 横山地区まちづくり会議

Vol.19 2025年3月



横山地区
マスコットキャラクター
よこぞうくん桜Ver.

- 地区まちづくりを考える懇談会の振返り
- 令和6年度 of 取組と令和7年度 of 取組(案)
- 地域活性化事業交付金の募集について
- 令和7年度 of まちづくり会議開催日程(案)
- 令和7年度 of まちづくり会議委員の推薦

地区まちづくりを考える懇談会 一市の未回答事項・全体の振返り一

「地区の現状や感じていることを伝えて、市から回答があったのは、良かった。(地区)」
「交通安全は設備も大切だが意識づけ、マナーづくりが大切であり、地域の皆様との連携なくして進めていけない。(市)」

地区課題 一今年度考えたことを、来年度は実践一

「懇談会等をとおして、地区の取組方法を得たので、来年度はまちづくり会議が受講や体験など実際に取組む。また、地区に向けた自転車利用安全啓発を行う。」
「横山地域包括支援センターが主催した自転車交通安全教室は実技・講義共に内容が良い。」

地域活性化事業交付金とは...

幅広い層の市民の参加及び協働による地域の活性化を目指し、市民が自主的な課題解決に取り組む事業に対して交付される交付金です。横山地区まちづくり会議の取組でも活用していきましょう。

まちづくり会議は傍聴できます

- ◆開始15分前までに横山公民館へお越しください。
- ◆次回は5月19日(月)19時30分開催
- ◆会議録は区役所ホームページに掲載します

